

# 第3回定例会

平成26年



て、決算審査の運営方法を見直し、議会改革を推進しました。  
これからも、地域の皆様の声を議会市などに伝え、議会改革を推進していきたいと思っております。

### 子ども・子育て支援新制度に関する条例の制定

平成26年第3回定例会は、9月1日から10月10日まで開催され、提案された議案48議案などを審議しましたので、簡単ではございますが、ご報告させていただきます。  
なお、今回、市長は現行の市職員の秘書2人に加え、新たに特別職の秘書を2人設置しようとする、特別職の秘書に関する条例を提出しようとしたが、市議会の理解を十分に得られていないと判断し、9月1日定例会開会直前に提出予定の議案を取り下げました。

### 議会改革の推進

今回の決算審査特別委員会から、常任委員会単位の分科会において局別に決算議案の審査を行い、各分科会での審査を踏まえ市長と総括質疑を行い、来年度予算への反映を図ることとし

### 代表質問

自民党の代表質問では、①モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき及びサマーミュージックについて、次のとおり、質問いたしました。

#### 1 モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき及びサマーミュージックについて

**質問** 毎年、国内外の著名なアーティストを招聘してステージを盛り上げておられますが、こういったコンセプトのもと出演者を選考しているのか伺います。また、出演交渉は誰が行っているのかあわせて伺います。

**答弁** 出演者の選考は、日本開催ガイドラインに記載されている、若者から高齢者まで全ての人が楽しめるフェスティバルとして、ジャズを中心とした音楽のすばらしさを実感していただくために、それぞれのホルルの特性も踏まえた多彩なアーティストの選考を行っています。また、出演交渉は、国内アーティストは実行委員会みずから行っておりますが、海外アーティストの一部につきましては、実行委員会がそうしたコンセプトをもとにアーティストをリストアップし、出演交渉を含む招聘業務を専門業者に委託しています。

**質問** ミュージカの音響に適したアコースティックを主体としたアーティストを選定すべきと考えます。見解を伺います。

**答弁** ことしは、11月22日にナタリー・コール、23日にボブ・ミンツァーが出演いたしますが、ミュージックが川崎シンフォニーホールの音響性能を踏まえ、多くの方に楽しんでいただけるよう演出などを調整してまいりたいと考えております。

**質問** 市内では音楽大学、愛好者、また指定管理事業者もジャズコンサートやライブを行っています。こうした民間の取り組みとの連携を深めるなど、音楽のまち・かわさきの資源を生かしたジャズ・フェスティバルに発展させていくべきと考えますが、見解を伺います。

**答弁** 市内では、多様な団体が多彩なジャズコンサートなどを開催しております。今後のジャズ・フェスティバルのあり方につきましては、こうした民間レベルでの取り組みとの連携を

### 川崎市いじめ防止対策連絡協議会等条例の制定

昨年9月、いじめの防止等のための対策を、総合的に、かつ効果的に推進するために、いじめ防止対策推進法が施行されました。これを受けまして、本市におきまして、本年5月に「川崎市いじめ防止基本方針」を策定しておりますが、このたび、いじめ防止等の体制整備や、重大事態の調査や再調査を行うため、「川崎市いじめ防止対策連絡協議会」、「川崎市いじめ問題専門・調査委員会」、「川崎市いじめ総合調査委員会」の3つの附属機関を設置するものです。いじめ事案の調査の公平性・中立性を確保し、当該事案の直接の人間関係または利害関係を有しない第三者の参加を得るため、条例を制定し、いじめ問題に、一層迅速に、適切に対応していくものです。

### 平成26年度一般会計補正予算

主な内容として、民間保育事業者を活用し、小規模保育所を整備する「民間保育所整備事業」や、国のグリーンニューディール基金を活用し、防災拠点等における再生エネルギーの導入を図ることで、災害に強い環境先進都市を目指す「環境エネルギー推進事業費」などで、補正額は7億4千万円余です。

### 平成25年度決算

一般会計では、市税全体では2年ぶりに増収となり、約2億円の實質収支を確保しましたが、減債基金から27億円の新規借入れを行っており、厳しい財政状況となっております。川崎認定保育園の再構築と、それに伴う保護者保育料補助の創設、保育所受入人数を増加するための取組を推進したほか、防災行政無線や備蓄倉庫の整備、こみ処理施設の整備、障害者の生活介護の充実など、市民が安心して日常生活を送るために必要な施策を着実に実施いたしました。

また、公営企業会計は、それぞれ経営改善に努め、下水道事業、水道事業及び工業用水事業は、昨年度に引き続き黒字決算となっており、病院事業と自動車運送事業は、それぞれ多摩病院の減価償却費の影響、燃料費の高騰などにより、赤字決算となっております。川崎市議会では、審議の結果、上記の議案を含めた48議案は、原案可決、同意、及び認定されました。

### 代表質問

自民党の代表質問では、上記議案のほか、平成25年度決算、新たな総合計画策定方針及び行政財政改革に関する計画の策定方針、「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」、中学校給食及び市立学校における複数エネルギー導入の加速、市立高等学校の日本史教科書の採択、地域の寺子屋事業の開講、本庁舎建替えに関する検討状況、危機管理対策、羽田空港新飛行ルート、入札制度、使用料・手数料の運用基準の策定、音楽のまちづくり、わくわくプラザ、居住実態の把握が出来る児童に関する調査結果（仮称）中小企業振興基本条例、農業振興施策、国民健康保険、川崎市建築行為及び開発行為に関する総合調整条例、遺体保管所の設置計画、本市の緑行政、グラウンドの整備、道路整備プログラム、こみの処理体制、浸水対策などについて、質問を行いました。

#### 2 「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」について

**質問** 9月3日、殿町地区において開催されたシンポジウムにおいて内閣総理大臣補佐官は、羽田空港を核とする京浜臨海部の国際競争力強化の観点から、羽田連絡道路と国道357号を同時に整備していくことを示しました。そこで、国際戦略拠点を高める点で、国道357号の整備に対する本市の考えについて伺います。

**答弁** 羽田空港を核とした国際的な戦略拠点形成に向けましては、多摩川対岸で拠点形成を進めている羽田空港跡地と連携を強化し、一体的なまちづくりにより相乗効果を高めることが重要と考えております。そのためには、戦略拠点形成を実現するインフラとしての羽田連絡道路や首都圏に位置する拠点機能を支える広域的なネットワークである国道357号の整備が必要であるとと考えております。

**質問** 本市においては、既に羽田空港再拡張に伴う100兆円の貸し付けを行っています。羽田連絡道路と国道357号の両道路の整備について、本市の起債の制限もあることから、国に対して応分の整備費用の負担を求めると考えています。整備の財源のあり方についても伺います。

**答弁** 整備の財源についてはですが、国道357号は国の直轄事業ですので、本市の負担は本市域に係る事業費の3分の1になります。また、連絡道路は、今後の関係者による協議を経て事業主体等が明らかになりますので、現時点では、本市の具体的な負担は未定ですが、国等に対しては、適切な負担を求めてまいりたいと存じます。



自民党川崎市議会議員団の議員一人ひとりが、議員としての職責を十分に果たし、市民の皆様が安心して豊かに暮らせる魅力あるまちづくりを実現するため、全力で取り組んでまいります。

私も、微力ではございますが、市民がいそいそと安心して暮らせる「元氣都市かわさき」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。